

**いもち病が発生しやすい条件が続いています。
ほ場を入念に見回り、病斑を確認したら直ちに防除しましょう！**

- ・葉いもちの広域発生調査(7月13日～16日)の結果、発生地点率は7.5%で平年(4.4%)よりやや高い状況でしたが、発生地点における発病株率は0.34%と低い状況でした。
- ・7月上旬の日照時間は、平年比44%(アメダス仙台)と少なかったことから、稲体のいもち病に対する抵抗力低下が懸念されます。また、向こう1か月も日照時間が少ないと予報されています(仙台管区気象台7月16日発表)。
- ・7月10日以降、葉いもちの感染好適日が連日出現しています(表1)。現在、病斑が見られなくても、今後現れる恐れがあります。

表1 アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	桃生	大衡	鹿島台	東松島	石巻	女川	新川	塩釜	江ノ島	仙台	名取	白石	蔵王	亘理	丸森	
7/10	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/11	—	●	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	—	●	●	—	—	—	—	●	●	—
7/12	●	●	—	—	●	△	△	●	●	●	●	—	●	●	●	●	—	—	●	●	—	—	—
7/13	△	△	△	●	△	●	△	●	△	△	●	—	●	—	●	—	△	—	—	—	△	●	—
7/14	○	—	●	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	●	△	—	—	—	—	—	—	—	△
7/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	○	△	●	—

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上, 平均気温15~25℃, 前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが, 前5日間の平均気温が条件からはずれている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
—	好適条件なし	

防除のポイント

- ・上位葉の葉いもちは、穂いもちの発生源になります。ほ場を入念に見回り、病斑を確認した場合は、直ちに防除を実施してください(表2)。特に、追肥後は一時的に稲体の窒素濃度が高まり、いもち病菌に対する侵入、進展抵抗力が低下するので、薬剤散布を併せて行うなど注意してください。また、いもち病の常発地、葉いもちの予防剤を施用していないほ場、生育が遅いほ場や葉色が極端に濃いほ場も発生に注意してください。
- ・穂いもちの予防防除を実施した場合でも、ほ場を入念に見回り、葉いもちの発生を確認した場合は、直ちに茎葉散布剤による防除を実施してください(表2)。
- ・穂いもちは、出穂直後が最も感染しやすいので、適期を逃さないよう防除してください。なお、本年の水稲の出穂期は、7月6日現在、平年並(北部平坦:8月2日頃)と予想されています。

表2 いもち病の主な茎葉散布剤(『令和2年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』より抜粋)

薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数・使用量	FRACコード
トライフロアブル	収穫 14 日前まで	2回以内	1,000 倍	U16
ノンプラス粉剤DL	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg/10a	U14, 16.1
ノンプラスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000 倍	
ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg/10a	
ブラシンフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000 倍	
ブラシンバリダ粉剤DL	収穫 14 日前まで	2回以内	3～4kg/10a	U18, U14, 16.1
ビームゾル	収穫7日前まで	3回以内	1,000 倍	16.1
ビーム粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3～4kg/10a	
ラブサイドベフラン粉剤DL	穂ばらみ期～穂揃期 但し、収穫 14 日前まで	3回以内	3～4kg/10a	M7, 16.1
フジワン乳剤	収穫 14 日前まで	2回以内	1,000 倍	6
フジワン粉剤DL	収穫 14 日前まで	2回以内	3～4kg/10a	

※令和2年7月 14 日現在の登録内容

※FRAC コードは、殺菌剤の作用機構分類を表す

ー 農薬の適正使用についてー

- 1 ラベルに記載されている適用作物, 使用時期, 使用方法等を十分に確認する。
- 2 ラベルの注意事項にある「注意喚起マーク」の表示に従い, 適切な保護具を着用する。
- 3 農薬の使用前後には, 防除器具を点検し, 十分に洗浄されているか確認する。
- 4 近隣住民等に散布スケジュールを事前に周知し, 周辺環境への飛散防止に努める。
- 5 農薬は計画的に購入・使用し, 使い切るよう努める。
- 6 散布後には農薬の使用履歴を記帳する。

※薬剤の選定に当たっては, 最新の農薬登録情報を確認してください。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターのトップページ:<http://www.famic.go.jp/>

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429 E-mail:byogai@pref.miyagi.lg.jp

農薬危害防止運動実施中！(6月1日～8月31日まで)